

清水雅文新町政が スタートします！

10/31

先の愛南町長選挙(平成20年10月19日執行)で当選した清水雅文町長が、職員が見守る中、初登庁しました。同日、係長級以上の職員に対し、就任あいさつと訓辞を行いました。



就任あいさつ及び訓辞

(要旨)

清水町長は「景気の低迷等、町財政も、住民生活も、ともに厳しい時だと認識しています。そのため、行政組織はトップダウン方式ではなく、ボトムアップ方式で、有能な職員が町民の生活に目を向け、町民の声に耳を傾ける姿勢の中から、真に必要な施策の実現をめざす、そんな行政運営を進めていきたいと考えています。職員の皆さんは、町民との対話を重視し、ともに汗して知恵を出し合う関係を築くため、努力してほしいと考えています。」と就任のあいさつを行いました。

また、雇用や子育て支援など「真の公平、公正、そして真心を持って、町民の目線で、町民のための行政運営を推進していきます。職員の皆さんは、私の意志をご理解いただき、今後のご支援、ご協力をお願いします」と訓辞を述べました。

平成20年第4回町議会臨時会



本庁議場で、平成20年第4回議会臨時会が開催され、始めに清水雅文町長が招集あいさつ及び所信表明を行いました。続いて、愛媛地方税滞納整理機構規約の一部変更、情報資産セキュリティシステム製品契約、住民基本台帳ネットワークシステムサーバ等機器購入契約、船越漁港広域漁港整備工事請負契約及び柏崎漁港地域水産物供給基盤整備工事請負契約の変更の計5議案が承認・可決されました。

このほか、任期満了に伴う町選挙管理委員会委員に山本勝廣さん(魚神山)、幸崎信正さん(御荘平城)、市川乗地さん(御荘平城)、山岡島子さん(船越)、同委員会委員補充員に尾田正幸さん(緑内)、遠近正人さん(広見)、櫻元都喜美さん(柏)、猪野高克さん(福浦)の8名が議会より選出されました。

詳しくは、町ホームページをご覧ください。なお、公開には2カ月程度かかりますのでご了承ください。

所信表明 (要旨)

行政運営の方針

現在、社会を取り巻く経済情勢が低迷し、町行政や町民の生活も、ともに厳しい時にあると認識しています。このような状況下の行政運営は、徹底した経費削減と真に必要な事業のみを行っていくことが求められます。また、職員数についても、計画的な削減をめざし、役場内にとどまらず、外郭団体等の人件費の見直しも検討していきたいと思えます。

私のめざす行政運営は、職員が町民の声から真に必要な施策を立案し、上司に提案して実現を図る。いわゆるボトムアップ方式です。そのためには、能力とやる気のある職員は、年令を問わず、登用していくことが必要不可欠だと考えます。

大切なのは、町民の皆様に対して、分け隔てなく質の高い行政サービスを提供することだと考えています。

施策方針

○企業誘致の推進

町民の働く場所の確保は喫緊の課題だと考えますので、企業誘致等、愛南町のセールスマンとして、全国各地に町をPRする覚悟でいきます。

○医療・福祉の充実

県立南宇和病院を始め、国保一本松病院の医師確保に向け、愛媛県等の関係機関へ

働きかけるとともに、愛媛県のドクターバトン事業を積極的に活用していきたいと思えます。

福祉対策については、町で寝たきりの高齢者を含め、述べ約300名(平成20年1月末現在)の方が施設への入居を希望し、待機しています。私は、高齢者の方々が、安心して暮らすことができる介護福祉施設が必要だと考えます。今後、医療と福祉を車の両輪として充実させ、弱者にやさしいまちづくりをめざしていきます。

○第一次産業の振興

第一次産業に従事する方が、安定的かつ自立的な経営ができるよう、できる限り支援し、後継者の育成とともに、足腰の強い産業基盤づくりに取り組んでいきます。

○高速道路の整備促進

高規格道路の津島・一本松間の延伸、国道56号の宿毛・一本松間の改良など、町負担がない国の道路事業が行われるよう、国に働きかけます。

○教育環境の充実

愛南町の明日を担う子どもたちが、のびのびと学べる教育環境づくりに取り組んでいきます。財政難を教育現場に持ち込む前に、行政の無駄を省き、徹底的に合理化に着手していきます。その上で、子育て支援などの施策も検討していきます。